

文芸書ご担当者様



晶文社

9月新刊

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

停滞か、成長か？ 勝ちか、負けか？
じゃなくて、もっとグレーな、中庸ってのもあるでしょ。



「踊り場」日本論

岡田憲治×小田嶋隆・著 四六版 248頁 予価 1600円＋税

2012年の衆院選挙以降、安倍政権が誕生し、
なしくずし的に「特定秘密保護法」の成立、
「集団的自衛権」行使容認の閣議決定など、
多数を武器にやりたいほうだい。

その安倍政権を軽くおちょくりながら、
なぜこのような状況が生まれてきているのか、
ジャーナリズムはそれをどんなふうに伝えているのか、
もう少し住みやすい社会にするには何が必要なのかなど、
コラムニスト・小田嶋隆と政治学者・岡田憲治が



いたって上品な対談で、世の中をわかれます。

岡田憲治（おかだ・けんじ）

1962年、東京旧北多摩郡生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。
専修大学法学部教授。専攻は現代デモクラシー理論。著書に『権利としてのデモクラシー』（勤草書房）、『言葉が足りないとサルになる』『静かに「政治」の話を続けよう』（亜紀書房）、『ええ、政治ですが、それが何か？』（明石書店）など。

小田嶋隆（おだじま・たかし）

1956年、東京赤羽生まれ。コラムニスト。コンピュータ、ネット、政治、スポーツなど、多岐にわたる事象に対するコラムは多くのファンを持つ。著書に『小田嶋隆のコラム道』（ミシマ社）、『場末の文体論』（日経BP社）、『ボエムに万歳！』（新潮社）、共著に『街場の憂国会議』（内田樹編、晶文社）など。

<目次>

- 1 選挙のことば
選挙の語られ方、選挙で何を選ぶのか、民主党の役割
- 2 取り戻したい日本はあるのか、あったのか
自民党の「家族観」、自民党と流行歌、教育って何のため？、教育とナショナルなもの、グローバルな人材？
- 3 どんな社会にしたいのか
自己責任と互酬性、「三丁目の夕日」的なものをめぐる、社会保障はバラまきか、ボーダーの移動、立場でしかモノが言えない、何のための議論なのか
- 4 あらかじめ失われた東京民
下町の意味、田舎の人がつくる東京、いじくられる街、はずし方の作法、東京オリンピックをめぐる、サポーターとジャーナリズム

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 9月8日

取次・貴店印		☆☆☆☆		申込部数
新刊委託申込書		「踊り場」日本論		
		シリーズ「犀の教室」 岡田憲治 小田嶋隆 著		
		【エッセイ・政治】四六判並製/248頁/予価：本体1,600円＋税 ISBN978-4-7949-6817-3 C0095 9月19日配本予定		冊
シリーズ 「犀の教室」 ●搬入希望 () 即搬入 () 新刊と同時に	街場の憂国論		ISBN978-4-7949-6811-1 本体1,700円	冊
	パラレルな知性		ISBN978-4-7949-6812-8 本体1,700円	冊
	日本がアメリカに勝つ方法		ISBN978-4-7949-6813-5 本体1,600円	冊
	街場の憂国会議		ISBN978-4-7949-6814-2 本体1,600円	冊
	しなやかに心をつよくする音楽家の27の方法		ISBN978-4-7949-6815-9 本体1,600円	冊
ご担当		築土構木の思想		ISBN978-4-7949-6816-6 本体1,600円
様				冊